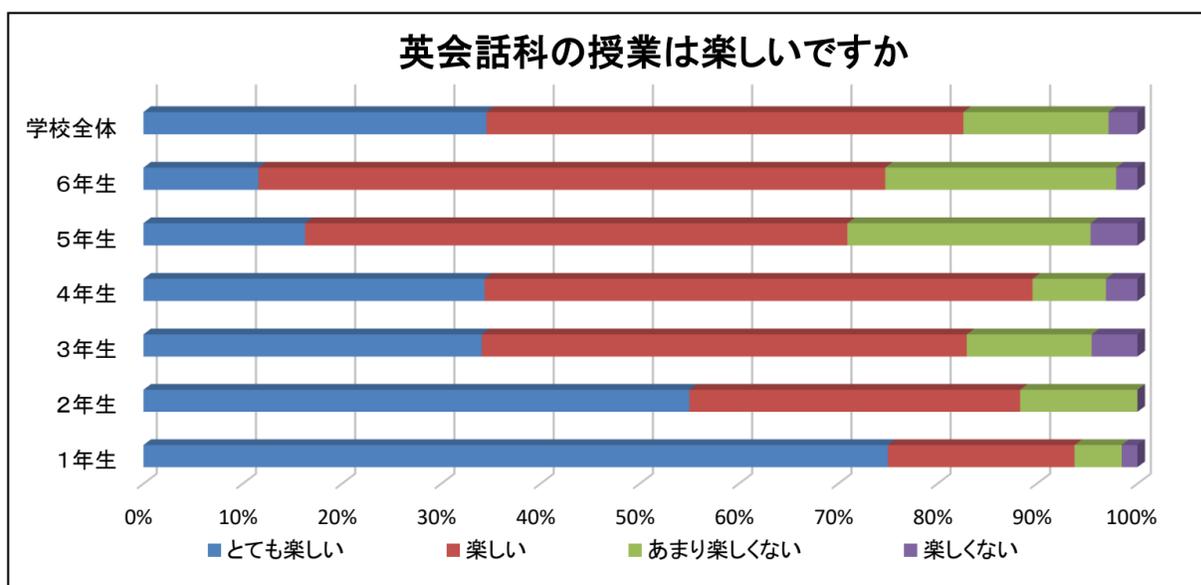


令和元年度 英会話科に関する調査結果

天草市立本渡南小学校

【児童へのアンケート結果より】

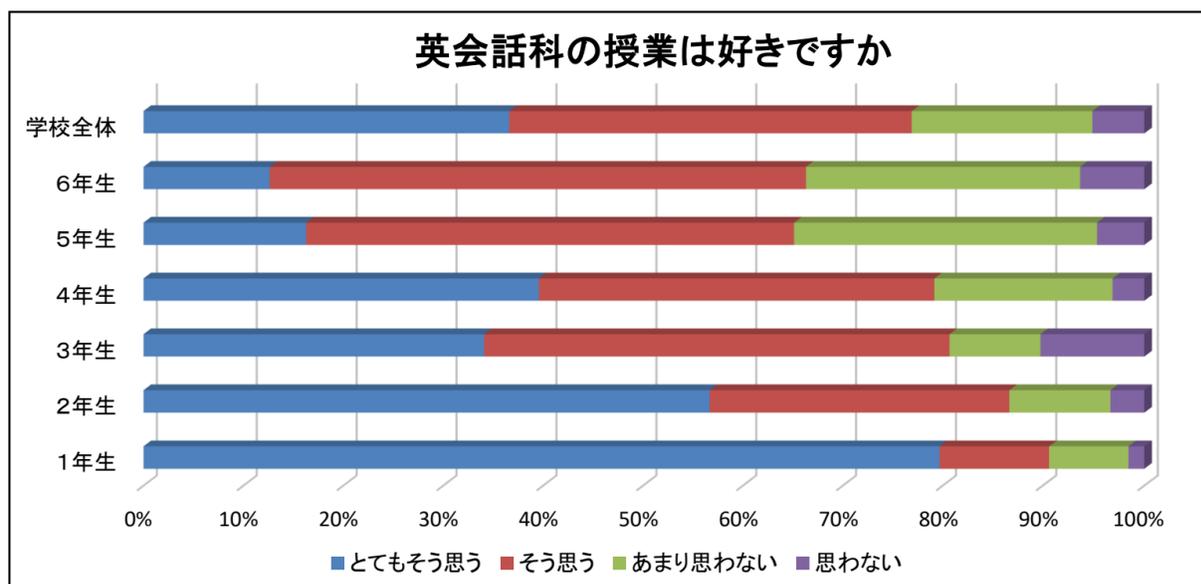
(1) 英会話科の授業は楽しいか。



約83%の児童が英会話科の授業は楽しいと答えている。どの学年も、楽しいと答えている児童の割合が多いが、高学年になるにつれて、楽しくないと答える割合が増えてくる傾向にある。

高学年では、話す・聞く活動だけでなく、アルファベット読んだり、単語を書いたりする活動がある。楽しんで文字を読んだり、書いたりするようにしていきたい。

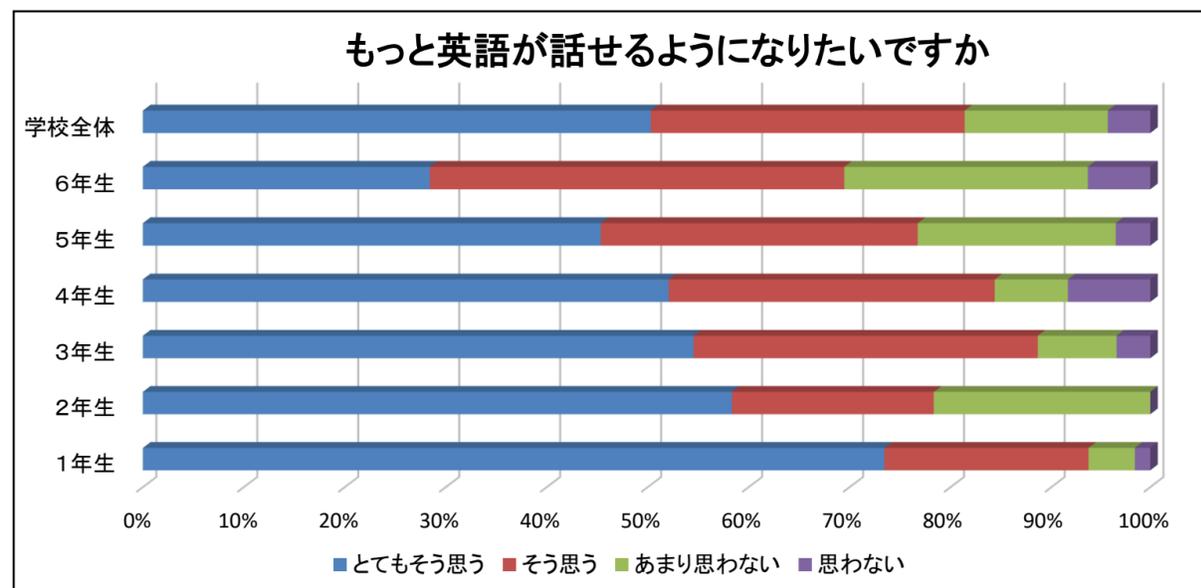
(2) 英会話科の授業は好きか。



約77%の児童が英語の授業が好きだと答えている。授業では、英語を使って積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童が多い。一方で、高学年になると、学習内容が多くなり、難しさを感じている児童もいる。

英語の授業が好きになるような授業づくりを工夫していきたい。

(3) もっと英語が話せるようになりたいか。



学校全体の約81%の児童がもっと英語を話せるようになりたいと答えている。単元の最後の授業では、学んだ英語を使って友達と会話を楽しんだり、学習発表会で学んだ英語を発表したりするなど意欲的な姿が見られた。また、ALTの先生など外国の人とも休み時間に多く話す姿が見られた。

○保護者・学校関係者より

- ・学習発表会では、4年生が学んだ英語を使って会話を発表した。
- ・子供たちが生き生きと英語を話していたのがとても印象的な、あたたかい授業だった。
- ・クラスルームイングリッシュを積極的に活用していて、子供たちが英会話を楽しむ雰囲気があった。
- ・授業の中で、たくさんの英語が使われており、だから聞く力もつくのだろうなと思った。ジェスチャーやクリアボイスなどは日ごろの授業の積み重ねだと思った。
- ・英語を書くことが難しいみたい。
- ・英語はこれからの時代に必要なものだから、早い時期に英語を学ぶ機会があるのはありがたい。